

**\*\*図書紹介\*\***

## **クールマン安全工学 安全科学の体系書**

### **内容目次**

- 第1章 安全工学の役割と目標
  - 第2章 用語の定義
    - 損害, 危険, 危険性および安全性
    - 不慮の損害事象, 危険源, 危険区域, 潜在危険性, リスク
  - 第3章 サイバネティックスと安全工学
    - 基礎, サイバネティックス的アプローチ, システム工学との関係
  - 第4章 安全解析
    - 概要, 安全解析の作業方法, 定性的・定量的安全解析
  - 第5章 安全要因としての機械
    - 機械の運転ストレス, 機械の使用条件
  - 第6章 安全要因と保護対象としての人間
    - 医学的観点, 心理学的側面, 人間工学, 教育と訓練
  - 第7章 安全因子, 保護財産としての環境
    - 自然ならびに文明的環境因子(空気, 水, 大地, 食糧等)
    - 工業設備に対する外部環境の影響
  - 第8章 安全性に関する法制
    - 概念, 目標, 行政の役割, 技術規格, 規則の役割と効果
    - 安全技術的な基準制定の限界
    - 法以外の方策の限界
    - 法制の発展の方向
  - 第9章 安全工学の社会的側面
    - テクノロジーアセスメント
    - 許容リスクの問題
- 文献

編訳者 [清水久二](#)